

グアテマラ月報(2024 年2月)

2024 年 3 月 21 日
在グアテマラ日本国大使館

《ポイント》

- アレバロ大統領は、政権発足 30 日間の取組に関する演説において恐喝事件専門の警察部隊の新設、汚職対策委員会の新設、全国の公立学校施設改修、様々な社会セクターとの対話等の施策について紹介した。
- 外交面ではアレバロ大統領が 16 日～23 日の間、独、仏、ベルギー、スイス、スペインを訪問し、各国首脳および国際機関要人等と会談を行った。
- その他、経済関係では中央銀行が 2024 年の経済成長を、世界平均 2.9%を上回る 3.5%と予測した。

【内政】

(1)汚職対策

ア 民間航空局局長を汚職疑惑で罷免

5 日、アレバロ大統領は、空港運営における汚職の疑いのあるフランシス・アルゲタ民間航空局長を罷免し、イングリッド・セラヤ同局総務・財務副局長を長官に任命した。

イ 保健省所管の政府調達不正事案に関する調査

20 日、保健省は、当地シンクタンク「グアテマラ開発財団(FUNDESA)」に委託し、昨年 12 月に実施されたモニタリング調査の結果、一部事業における同省の負債(未払額)は少なくとも 6 億 5 千万ケツアルと推定されると発表。詳細経緯の調査を進め、早期の問題解決に取り組むとした。

(2)国民対話: 政府と主要農民団体との間の農地政策に係る政治合意

7 日、アレバロ大統領は全国の主要農民団体との間で、農地政策に関する政治合意に署名。地方農村部の先住民等との対話、多様な意見の政策への反映の重要性を改めて明確にし、農地を巡る紛争・貧困農民の土地へのアクセス等の問題対処のための方針を発表。

(3)治安対策

ア 恐喝事件対策で国家警察に部隊を新設

9 日、当地主要紙は、社会問題となっている恐喝事件に対応する特別部隊を国家警察内に創設。同部隊は 400 名の警察官で構成され、オートバイ等の装備品は米国からの支援を受けている。

イ 国家文民警察内で発生した汚職事案への対応

13 日、ヒメネス内務大臣は、国家文民警察(PNC)の港湾、空港、国境警備局における昇進人事に絡む贈収賄事件が明るみになったことを受け、PNC の昇進プログラムの 3 か月間停止すると発表。問題のあった局の廃止も検討される。

(4)首都圏交通の改善

10 日、グアテマラ市は、首都圏の信号をスマート信号に転換するプロジェクトの開始を発表。同プロジェクトは 65 万台/日の交通量がある首都中心の信号 500 台を刷新する目標であり、デジタルプラットフォーム Wase との協力により実現。

(5)政権発足30日間の取組:アレバロ大統領演説

14 日、アレバロ大統領は政権発足 30 日間の取組に関する演説を実施し、恐喝事件に対応する警察部隊の新設、汚職対策委員会の新設、県知事任命制度改革、学校改修、様々な社会セクターとの対話等の施策について紹介した。

【外交】

(1)EU、カナダによるポラス検事総長等に対する制裁

ア 2日、EU は、アレバロ大統領の就任妨害を企て法の支配と民主主義を損なったとして、ポラス検事総長、ピネダ同庁官房長をはじめとする検察当局関係者計 4 名及び下級裁判所判事1名に対する制裁措置(欧州27か国への入国禁止、資産凍結等)を発表した。

イ 20 日、カナダ政府は、ポラス検事総長他3名の司法関係者を、「汚職を直接的または間接的に助長し、重大な人権侵害を平然と行った」として、入国拒否やカナダ国内の資産凍結等の制裁を科すと発表した。

(2)駐グアテマラ米国大使の着任

2日、ブラッドリー米国大使が着任。同大使の前職は米国国際麻薬法執行局次官補。

(3)外務省は台湾との外交関係を維持する旨プレスリリースを発出

7日、グアテマラ外務省は、「グアテマラが中国との公式な経済的関係構築を検討している」旨のロイター通信の 5 日付記事を受け、「グアテマラは、中華民国(台湾)との良好な政治・外交関係及び強固な友好関係を再確認した」旨のプレスリリースを発出した。

(4)米州人権委員会ミッションがグアテマラを訪問

21 日付主要紙は、アレバロ大統領の招きにより 12 日から 13 日の間当地を訪問した、米州人権委員会のミッションが、刑事施設で拘束されているジャーナリスト、ホセ・ルベン・サモラ氏を訪問し、表現の自由の保障の観点から同氏を支持する立場を表明。当国政府とのやりとりにおいて、アレバロ大統領は行政府の権能で可能な限りの努力をする旨応じた旨報じた。

(5)米国シンクタンク主催イベントへのアレバロ大統領出席

14 日、アレバロ大統領は、米国シンクタンク(アトランティック・カウンスル)主催の経済イベントにて基調講演を行い、貿易・投資は雇用を創出し、移民対策貢献するとしつつ、新政権は法的安定性の向上、汚職対策によるビジネス環境整備を推進し、米国との関係強化に努める旨発言。同会議

においてマルティネス外相は中国との関係は重要であるが、台湾との外交関係を堅持すると明言した。

(6) アレバロ大統領の第 60 回ミュンヘン安全保障会議出席

16 日、アレバロ大統領はドイツで開催されたミュンヘン安全保障会議に出席し、麻薬、汚職、移民等の問題につき発言。若者の移民抑制に対する国際社会の支援を呼びかけた。

(7) アレバロ大統領の欧州訪問

16 日～23 日の間、アレバロ大統領は独、仏、ベルギー、スイス、スペインを訪問し、各国首脳および国際機関要人等と会談を行った。

3 経済

(1) マクロ経済

ア 中銀等によるマクロ経済指標の発表

5 日及び 6 日、中央銀行及び金融委員会はマクロ経済概要を発表。2024 年の経済成長予測は 3.5%であり、世界平均の 2.9%を上回る。また、経済の力強さと新政権によるビジネス環境改善により、海外からの投資は 16.2 億ドルに達すると予測。2023 年の輸出は対前年比-5%の 148 億ドルであったが、2024 年は 4～7%の成長を見込んでいる。2013 年から 2022 年までの海外からの直接投資平均は、対 GDP 比 1.96%であり、ニカラグア(7.35%)、パナマ(5.86%)、ホンジュラス(4.71%)等の域内他国より低いとして、投資促進にはマクロ経済の安定やカントリーリスク格付けの改善、ニアショアリングの流れへの対応等が必要と言及した。

イ 1 月のインフレ率は 3.82%に低下

15 日、国立統計院(INE)は、1月のインフレ率は 3.82%で、2023 年 12 月の 4.18%を下回り、他の指標も一般物価上昇率の低下を示している。他方、ガソリン、鶏肉、トマト等、高騰している品目も存在すると発表した。都市部の基本食糧バスケットは、846.30 ケツアル、農村部は 654.30 ケツアルであった。

ウ 中銀は政策金利を 5%に据え置くと発表

21 日、ゴンサレス中央銀行総裁は、インフレ率は 2023 年末 4.18%、1 月は 3.82%と、落ち着いているものの、米国経済の状況や複数のマクロ経済指標を勘案し、政策金利を 5%に据え置くと発表。

エ 経済開発閣僚会議は 2024 年の海外直接投資増等の予測を発表

27 日、大統領府で開催されたエレラ副大統領主宰の経済開発閣僚会議において、2024 年の外国直接投資は 16 億 2 千万ドル、前年比で 1 億 2 千万ドル増加、また、経済成長率は世界平均の 2.9%を上回る 3.5%と予想される旨が報告された。

(2)国内経済

ア 民間セクターはアレバロ政権の雇用促進、法的安定性に期待

8 日付プレンサ・リブレ紙は、民間セクターは民主主義を支持し、アレバロ政権に対し、インフラプロジェクト実施を通じた雇用促進及びニアショアリングの流れにおける法的安定性の向上に期待する旨の当地シンクタンク FUNDESA のコメントを掲載した。

イ JICA が支援する物産展が首都歴史地区で開催

14 日付ディアリオ・デ・セントロアメリカ紙は、経済省が、JICA の支援を受けて、首都歴史地区において第 8 回全国フェア「My People My Product」を実施した旨掲載。同フェアには 60 の生産者が参加。展示品目は、陶器、手工芸品、コーヒー、有機蜂蜜、ワイン、宝石等であった。

ウ クレジットカード法の可決

15 日、消費者保護等を目的として、クレジットカードの発行者、オペレーター、所有者等の関係定義と法的枠組みの構築を規定するクレジットカード法案が議会において可決された。

(3)貿易・直接投資

ア 台湾の起業家ミッションがグアテマラを訪問

2 日付 当地主要紙ディアリオ・デ・セントロアメリカは、先週、台湾大使館の招きにより台湾の Acer グループ等をはじめとする起業家ミッションがグアテマラを訪れ、循環型経済プロジェクト及び炭素クレジット開発への投資に関する視察を実施した旨報じた。ツァオ台湾「大使」は、今後も同様の訪問が行われると述べた。

イ メキシコによるエビ輸入禁止措置のグアテマラへの影響

9 日付プレンサ・リブレ紙は、1 月 23 日にメキシコが、グアテマラを含む中米各国からのエビ輸入を一時停止した問題に関し、当国エビ養殖業者が打撃を受けている旨報道。同業者は約 5 千名を雇用しており、年間約 3 千トンのエビをメキシコに輸出している。

ウ 2023 年の自動車輸入及び販売台数発表

12 日付プレンサ・リブレ紙は、2023 年の自動車輸入、販売に関するデータを掲載。自動車輸入業者協会(Aidva)によると、2023 年の自動車販売台数は前年比 18%増の 54,711 台。ピックアップトラック需要が最も多く 1 万 9 千台、SUV が 1 万 7 千台と続く。セダンタイプは減少傾向にあり、2 千台未満。国税庁(SAT)によると、2023 年の輸入台数は新車約 3 万台、中古車約 6 万 5 千台であり、昨年比約 48%減であった。

エ インド企業ミッションがグアテマラを訪問

13 日、建設、自動車部品、包装他幅広い分野への投資に関心を有するインド企業 22 社がグアテマラを訪問。また、19 日にも同国の製薬会社 82 社が訪問し、潜在的なパートナーとの接触を行った。

オ ムーディーズによるグアテマラの格付け据え置き

14 日付プレンサ・リブレ紙は、ムーディーズが、グアテマラの格付けにつき「Ba1／安定的」を維持すると発表した旨掲載。その他の主要格付け会社の指標は、スタンダード・アンド・プアーズ「BB／安定的/B」、フィッチ「BB／安定的」であった。

カ グアテマラは世界最大のカルダモン輸出国

14 日、農業農牧省は、インドで開催されたコーデックス香辛料・料理用ハーブ委員会(CCSH7)において、グアテマラが世界最大のカルダモン輸出国として紹介されたと発表。2019 年から 2023 年にかけての輸出総額は 26.6 億ドルであり、主な輸出先は中東諸国であった。

キ 2023 年、グアテマラの港湾荷役量は前年比約 3%減を記録

19 日付プレンサ・リブレ紙は、2023 年の港湾荷役量は前年比約 3%減の 2,889 万トンであったとの国家港湾委員会(Comisión Portuaria Nacional)の発表を掲載。内訳はコンテナ貨物－0.32%、一般貨物－6.2%、固形バルク貨物－10%等。唯一の増加は石油派生物の 3.2%増。

ク 2023 年のガソリン輸入量は前年比 6.8%増を記録

20 日付プレンサ・リブレ紙は、2023 年のガソリン輸入量は、経済成長に牽引され、前年比 6.8%増加したが、原油の国際価格低下を受け、輸入額は 13%減少した旨報道。2022 年に 1 ガロン 41.29 ケツアルまで高騰したガソリン価格の 2023 年第 4 四半期価格は 29.49 ケツアルであった。

ケ 経済大臣は再生可能エネルギー、医療、電気・電子等の新たな投資分野への可能性を示唆

26 日付プレンサ・リブレ紙は、グアテマラには、コールセンター、BPO に加え、再生可能エネルギー、医薬品・医療機器製造、電気・電子分野等の新たな投資分野にも可能性があるとのガルシア・キン経済大臣のコメントを掲載した。

コ 2023 年の輸出額は前年比マイナス 9.3%を記録

26 日付ディアリオ・デ・セントロアメリカ紙は、中央銀行のデータとして、2023 年のグアテマラの輸出額 141 億ドル 9430 万ドルは、前年比マイナス 9.3%であったと報道。2023 年の主な輸出先は中米(36.2%)、米国(30.8%)、EU(9.6%)。一方グアテマラ輸出者協会(Agexport)は、輸出額の減少は価格の落ち着きによるものであるが、輸出量は増加しているため、2024 年の輸出額は 3～6%増加するとの予測をしている。

サ グアテマラ産コーヒーは 2025 年までに欧州基準に対応する必要がある

29 日付プレンサ・リブレ紙は、「欧州グリーンディール」について、2025 年までに同基準に適合しなければ EU へのコーヒー輸出ができなくなる可能性があるとの記事を掲載。2023 年、コーヒーの約 24%が EU 向けに輸出されている。全国コーヒー協会(Anacafé)は、生産中の森林伐採が検知された場合、EU への輸入が禁止されるとの規制を重視している。

4 その他

(1)ギランバレー症候群の疑いのある神経性疾患の流行

5 日、当地主要紙はギランバレー症候群とみられる急性神経疾患がスチテペケス県、レタルウレウ県等で本年中計 51 件発生し、内 3 名が死亡した旨報じた。

(2)気候変動予測

28 日付プレンサ・リブレ紙は、エルニーニョによる気温上昇が 5 月まで続き、その後ラ・ニーニャ現象による多雨が発生し、いずれも農作物に悪影響を与える可能性があるとの民間気候変動研究所(ICC)による予測を掲載した。

《経済指標》

◇主要経済指標◇	2024 年		2023 年	2022 年	2021 年
	2 月	1 月	12 月		
インフレ率(前年同月比)	3.30%	3.82%	4.18%	9.24%	4.28%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△1,495.60	△1,250.60	△16,437	△12,987
輸出(百万ドル)	未発表	1,177.00	1,166.4	15,684.3	13,620.7
輸入(百万ドル)	未発表	2,672.60	2,417.0	32,121.8	26,607.8
外貨準備高 (百万ドル)	20,714.70	21,227.30	21,319.4	20,019.8	20,939.6
外国からの送金(百万ドル)	1,527.90	1,468	1,765	18,040.3	15,295.7
為替レート(対ドル月平均)	7.83	7.84	7.84	7.77	7.75